

スギ花粉症が生徒の学校生活に与える影響

出典	耳鼻咽喉科免疫アレルギー(0913-0691)28巻4号 Page301-306(2010.12) (http://search.jamas.or.jp/link/ui/2011104897)
著者	大西正樹 他
調査地域	東京都
調査時期	2008年5月
調査対象	中学生、高校生
依頼数	中学校：634人 1年生 男子：186人、 女子：171人 3年生 男子：156人、 女子：121人 高校生：963人 1年生 男子：145人、 女子：261人 2年生 男子：31人、 女子：147人 3年生 男子：119人、 女子：260人
回収率	100%
診断方法	あなたはスギ花粉症（または2月-4月だけになるアレルギー性鼻炎） といわれたことがありますか、に対して「はい」と回答したもの
有症率	29.9%
学年別有症率	中学生：27.4% 高校生：31.6%
調査概要	東京都内の中高生を対象にスギ花粉症が学校生活に与える影響を調査した論文。スギ花粉症有病率は約30%で、症状の程度が中等以上が9割以上を占め、学校生活のQOLを低下させていることが示された。